

ポイントミス報告 医療事故防止策を見直す

協会の北大阪地区と大阪市西部地区は合同で1月25日、地区講習会「歯科医療におけるリスクマネージメント」を医療安全を確保するために」を梅田・新阪急ホテルで開き、32人が参加した。講師は、名取淳氏(西淀川・名取病院歯科口腔外科部長)が務めた。

「昨今、数多くの医療訴訟という漠然とした外圧が押し寄せている。歯科医療界においても、もはや医療訴訟は他人事とは言えない時期にきている」と名取氏が講演要旨で述べているとあり、我

われの日常診療をもう一度、リスクマネージメントという視点で見直す良い機会になった。

医療安全の確保は自明のこととして意識はしているが、日常診療で具体的にどのような方法・手段をとっているのかと改めて指摘されると、必ずしも十分であるとはいえないことに気付かされた。医療訴訟になった場合はなかりかけた症例の具体例の紹介で、名取氏は①インフォームドコンセントの要件を満たしたかどうか②自院の治療範囲を理解していたかどうか、

か、つまり後医に送る勇気があるかどうか③の2点が重要なポイントであると指摘された。

リスクの把握については、ヒヤリ・ハット、つまりインシデントのレポート報告制度が有効であり、その重要性を話された。医院のスタッフ全員が、医療安全に取り組み姿勢と体制をとることが求められる。その中でどんな小さなミスでも見逃さず、自ら報告するシステムを作ることが、大きな医療事故を防ぐ一番の方法手段であると強調された。

韓流ドラマに投影

六本 裕嗣 (住之江区)



リレーエッセイ 241



朱蒙(チュモン)とは韓国では月の名手という意味である。先週、全80話あった韓流ドラマ「朱蒙」がついに最終話をむかえた。この半年程の間、毎週土曜の深夜に放送されていたこのドラマを欠かす事は無かった。もし見逃す事があれば、レンタルを待ち、全80話を様々な想いを抱きながら、見終える事となった。

私は日本ドラマにはまる事はあっても、韓国ドラマにはまる事はなかった。韓国ドラマにはまる事はあつて一度も無かった。どちらかといえば、約5年程前からの韓流ブームを冷めたい目で見えてきた人間である。韓流スターと呼ばれる俳優が来日する度に空港へ詰め寄り、韓国下

ラマで涙を流し、韓流ツアーと称される旅行に出かける中年女性の気持ちに分からずいた。そんな私が何故?と思われらるであろう。きっかけは、私の義母の影響であったが、これまで自分自身がどうぶりと浸ってしまっただけでは、韓国ドラマそのものにある。

まず韓国ドラマは、日本ドラマと違い、ストーリー展開が明快である。そして各々の人物像の設定が、善と悪でしっかりと区別されている。さらに、テーマ性というものが分かりやすく、そのテ

最後に安全は99%の無駄によって支えられており、医療事故防止のため

「奥さんを驚かせたい」 男の料理教室を開催



講師(中)の実演を真剣に見つめる参加者(両端) = 1月31日、大阪市内

協会の組織部は、会員同士の親睦を深めることを目的とした新たな企画

「奥さんを驚かせたい」として「男の料理教室」を1月31日に大阪市内で開き、16人が参加した。料理初心者から経験者までさまざまなレベルの参加者たちは、講師の解説を加えながら実演に

真剣に耳を傾け、熱心にメモを取っていた。しかし、調理が始まると和気あいあいと取り組み、調理終了後は作った料理を試食しながら歓談した。(メニューは豚肉と水菜のはりはり、貝とわけぎのぬた、かす汁、酒まんじゅう)



絵 藤田 進 (河内長野市)

「朱蒙」も一人の主人公が建國を目指す、様々な試練に立ち向かっていくというストーリーである。毎週、建國までに立ちたがる試練とその運命をどう乗り越え、受け入れていくかというテーマがある。私自身、日々の仕事や出来事にある試練に対し、思いついていくこともあり、主人公に共感を覚えたのである。

越え、受け入れていくかというテーマがある。私自身、日々の仕事や出来事にある試練に対し、思いついていくこともあり、主人公に共感を覚えたのである。

事から大きな事に悩み生活している。そんな日々の生活の中で、「朱蒙」の放送が心待ちになるのも自然であろう。今週は主人公がどんな試練に悩み、その運命を受け入れていくのか、自分に重ね合わせて観てしまおう。

だ。主人公を自分に置き換え、その口々に憧れを覚えるようになり、次第に真剣に韓国へ訪れたいと考え始めた。韓国語を勉強し、主人公の台詞を理解したいという思い入れも強くなった。

今まで韓流ブームは中年女性の間だけのものと小馬鹿にしていたが、次第に自分もその流れにのって行くことに気づくこととなった。これは、果たして自分自身が、年老いてきたのかそれともただ日本ドラマにはまる同様のものなのか。後者であることを願いたい。

六本裕嗣先生ありがとうございました。次回は、山口太朗先生(旭区)にバトンタッチされます。ご期待ください。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 / ファクス 06-6568-0564

「女性医師・歯科医師の集い」

日時 2月28日(土) 午後2時30分～6時30分
会場 天王寺東映ホテル(JR天王寺駅北口から徒歩2分)
講師 補永栄子氏(大阪総合医療センター/小児・青年精神科)
会費 無料(懇親会参加者は6千円) 定員 30人
内容 1部:勉強会「注意欠陥・多動性障害」ADHDの基礎知識と臨床
2部:懇親会(午後4時30分～)

※保育室あり(希望者は事前に申し込み)

シリーズ社保講習会(第2回)

日時 2月28日(土) 午後6時～8時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り) 定員 100人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円
内容 「検査・画像診断・投薬・麻酔・処置・手術」
※歯科保険診療の研究(2008年4月版)を持参してください

確定申告 個別相談会

期間 2月28日(土)～3月13日(金) (但し、日曜は除く) 事前の予約制です
時間 お一人2時間 ①10時00分～②13時00分
③15時00分
※医療以外の所得(不動産、譲渡等)がある場合は予約時に必ずお申し出ください。
担当 協会顧問税理士団及び経税部
費用 原則 医療所得のみの場合2万円

北河内地区総会 記念講演「小児患者への診療のポイント」

日時 3月14日(土) 午後6時30分～8時
会場 天満橋・OMMビル2階1号室(京阪天満橋一東出口、地下鉄谷町線天満橋1番出口から)
講師 副島之彦氏(門真市開業) 定員 50人
会費 会員無料、未入会者1万円

3月度生涯研修 「咬合誘導」

日時 3月15日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り) 定員 100人
講師 親里嘉健氏(西宮市開業)
会費 会員3千円、未入会者1万円

北大阪地区総会 記念講演「口を管理する」急性期病院の口腔ケアセンターからみてきたもの(仮題)

日時 3月22日(日) 午前10時～12時
会場 千里阪急ホテル・クリスタルホール(地下鉄千里中央駅南出口から徒歩3分)
講師 大西徹郎氏(市立池田病院歯科口腔外科部長)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 100人

三島地区総会 記念講演「根管内細菌の嫌気的培養について」(仮題)

日時 3月22日(日) 午前10時～12時
会場 茨木福祉文化会館(オークシアター)(阪急茨木市駅・JR「茨木」から徒歩10分)
講師 小川敏氏(都島区開業) 定員 30人
会費 会員無料、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、歯科協同組合が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。